

回覧

九月一日防災の日特別イベント

『可ぞ絵ぶし』を聴く会

飛ぶ鳥落ちた大震災

古民家ガーデン紋蔵で二〇一五年に

発見された『大震災可ぞ絵ぶし』

琵琶語りにて伝えていきます

錦心流琵琶

高濱薫水



錦心流

琵琶楽龍子会  
大和龍弦



2024年9月1日(日)

その壺 12:30 開場 13:00開演  
その式 15:00 開場 15:30開演

入場無料 (投げ銭式)  
お気持ちを募金箱へお願いします

場所 古民家ガーデン紋蔵

開成町金井島1294 ☎0465-44-4151

瀬戸屋敷裏

🅐 駐車場有り (11時～) 金井島緑蔭自由運動広場

主催 関東大震災可ぞ絵ぶし伝承実行委員会

- 代表監事 : 高山光子 (NPO法人ふれあいサークル すずろ)
- 共同代表 : 長嶋建人 (KENT OFFICE 主宰)
- 実行委員長 : 志澤晴彦 (古民家ガーデン紋蔵)
- 事務局長 : 山下純夫 (足柄の歴史再発見クラブ)
- 後援 : 開成町 ・ 開成町教育委員会 ・ 足柄の歴史再発見クラブ

特別展 THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE OF 1923  
関東大震災

神奈川県立歴史博物館  
2023年 特別展 展示



『大地震かぞえぶし』の表紙

# 演目紹介

- 一、「方丈記」 大和龍弦 琵琶(十五分)
- 二、「木枯」 大和龍弦 尺八(七分)
- 三、「関東大震災 可ぞ給ぶし」 高濱薫水 × 大和龍弦 琵琶(十五分)
- 四、「白虎隊」 高濱薫水 琵琶(十五分)
- 五、「熊本大地震かぞえ歌」 高濱薫水 × 大和龍弦(十分)

## 方丈記

作者 鴨長明 作曲 大和龍弦

八〇〇年前に起きた「文治地震」の際 地震の怖さを鮮明に伝え、人々と自然の間に存在する災害を通してあるべき人の暮らしは何か、心はどうあるべきか。

## 白虎隊

作者 小田錦蛙 編曲 高濱薫水

官軍の総攻撃に決起した日新館の学生 年齢十五〜十六歳の三六名は戸口原での激戦の末 険しい滝沢峠を越え飯森山に辿り着く。生き残った満身創痍の二十人は黒煙に包まれる鶴ヶ城を見て、もはやこれまでと、全員が自害してあいはてたという。

## 演者紹介

たかはま こうすい

### 高濱薫水



1986年栃木県生まれ  
秋田県能代市在住(木能実経営)  
2016年小田原にて水野森水氏に師事  
2018年秋田県の故吉岡悠水氏に師事  
した後2023年錦心流琵琶全国一水会より  
奥伝会得  
『可ぞ給ぶし』の作曲 語り部

やまと りゅうげん

### 大和龍弦



1971年大阪府生まれ  
東京都在住(豊職人)  
海外で様々な音楽家と共演するなか  
「日本の音が聴きたい」と言われた  
ことを機に日本の音を求め  
錦心流薩摩琵琶の名手 故岩崎玄龍氏に師事  
「日本琵琶楽協会」会員  
『琵琶楽龍子会』会主として日々伝統芸能  
普及継承に努め現在に至る

## ～足柄の歴史再発見クラブからのお知らせ～

楽しく地域の歴史を学び、ワイワイ、ガヤガヤ、おしゃべり!

私たちは地域の歴史を見つめ直し、研究する市民の集まりです。やさしく、みんなで一緒に学ぼうをモットーとしています。特に力を入れているのが災害の歴史です。富士山の噴火、酒匂川の洪水、大きな地震などが何度もこの地域を襲いました。その度に人びとは力を合わせ乗り越えてきました。こうした歴史を地域のみなさん(子供から大人まで)に知ってもらうための活動も行っています。

皆さまのご参加をお待ちしております。

「入会ご希望の方は、次までご連絡をお願いいたします

関口康弘 (SEKIGUCHI Yasuhiro)

TEL 080-6508-9840

Eメール yasiro58157@watch.ocn.ne.jp

